

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》○鎌田樹寛 朝日まどか

【概 要】

本演習はDP4に該当する。具体的には、①高齢者に用いられる作業療法実践法を実技体験することにより、総合臨床実習において活用や汎用可能なイメージの定着をめざす。②評価計画や治療計画立案等について演習することにより、適切な計画や実施プログラム立案時のポイントをつかむことである。

【学習目標】

高齢者に用いられる集団アプローチ、遊び・レクリエーション、グループワークトレーニングについて、実技を体験する。加えて、評価計画や治療計画立案等について具体例を用いた演習を実施することにより、適切な計画や実施プログラム立案時のポイントがつかめられることを目標にする。

1. 高齢者に用いられる作業療法の実践法を適切に説明できる。
2. 実技を通じて実践法の有用性を感じることができる。
3. 評価計画や治療計画の立案経験を通して、症例への的確なイメージを持つことができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 治療計画立案と実践①	認知症高齢者を対象とした症例に関する治療計画立案を通して、実践方法を学ぶ。	鎌田樹寛
2	治療計画立案と実践②	認知症高齢者を対象とした症例に関する治療計画立案を通して、実践方法を学ぶ。	鎌田樹寛
3	治療計画立案と実践③	認知症高齢者を対象とした症例に関する治療計画立案を通して、実践方法を学ぶ。	鎌田樹寛
4	治療計画立案と実践④	認知症高齢者を対象とした症例に関する治療計画立案を通して、実践方法を学ぶ。	鎌田樹寛
5	評価と支援方法の検討	身近な存在である祖父母について、作業療法の視点に基づき分析し、支援方法を検討する。	朝日まどか
6	評価と支援方法の検討	身近な存在である祖父母について、作業療法の視点に基づき分析し、支援方法を検討する。	朝日まどか
7	老年期作業療法実践法①	集団/場の活用について学ぶ。	鎌田樹寛
8	老年期作業療法実践法①	集団/場の活用について学ぶ。	鎌田樹寛
9	老年期作業療法実践法②	遊び・レクリエーションの活用について学ぶ。	鎌田樹寛
10	老年期作業療法実践法②	講義に基づいた、レクリエーションの企画立案について学ぶ。	鎌田樹寛
11	老年期作業療法実践法③	レクリエーションの企画立案についての発表や質疑応答を通して、理解を深める。	鎌田樹寛
12	グループワークトレーニング	グループワークトレーニングの紹介と体験を通して、有用性を学ぶ (1)。	鎌田樹寛 朝日まどか
13	グループワークトレーニング	グループワークトレーニングの紹介と体験を通して、有用性を学ぶ (2)。	鎌田樹寛 朝日まどか
14	グループワークトレーニング	グループワークトレーニングの紹介と体験を通して、有用性を学ぶ (3)。	鎌田樹寛 朝日まどか
15	まとめ	高齢者への作業療法実践に関して、学内講義・演習や臨床実習から生じた疑問や課題について、討論を通し	鎌田樹寛 朝日まどか

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		て学びを深める。	

【評価方法】

プレゼン（レクリエーション企画立案）：20%

課題レポート：40%

定期試験：40%

レポートについては、返却後必要に応じてフィード・バックを行う。

【備考】

教科書：山田孝 他 著 「高齢期障害領域の作業療法（第2版）」 中央法規出版 2016年
適宜資料を配布する。

参考書：山根寛 著 「ひとと集団・場（第2版）」三輪書店 2007年
竹内孝仁 他 訳 「痴呆性老人のユースフルアクティビティ」 三輪書店 2007年
作業療法ジャーナル編集委員会 編 「レクリエーション」 三輪書店 1996年
平野 馨 著 「対人関係の基礎知識」 日本看護協会出版 2004年
日本レクリエーション協会 編 「グループワーク・トレーニング」 遊戯社 2006年

【学習の準備】

- ・実技を通して感じられることを重視する授業であるため、積極的に参加すること。
- ・求められていることを絶えず考えて、主体的に判断し、行動する姿勢を持つこと。
- ・実技の準備やアイディアの創造に十分な時間（各40分以上）を用いること。
- ・レポートに関する準備では、十分に文献検討を行う時間を取ること（各80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP4)リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

鎌田樹寛（作業療法士）、朝日まどか（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

①実務経験を活かし、治療的集団レクリエーションやグループダイナミックスについての知識や活用のポイントを実技を通して体験しながら、その有用性の理解を促す。②実務経験を活かし、認知症の対象者への作業療法治療計画やアプローチについて、クリニカルリーズニングと国際生活機能分類を基盤概念とした具体的事例を提示し、そのことに関するレポートを作成させながら、その要点の理解を促す。